

## NPO法人With優の活動について

### [NPO法人With優の概要]

- 所在地 山形県米沢市 ●代表者 白石祥和 ●規模：常勤7名 非常勤4名（内臨床心理士2名、教員免許保持者5名） 支援会員52名
- 活動目的 学校に行けない子ども達、行かない事を選択した子ども達、今の社会の中で生きにくさを抱えた青少年に対して、生活、学習支援を通しての復学・転学支援、及び社会的自立支援に関する事業を中心に、地域に住む子ども達、大人が自分らしさを大切に、生き生きと幸せに生きる事、地域に笑顔が広がる事、優しい地域社会づくりに寄与する事を目的とする。
- 活動内容
  - ・毎週月～金曜日の9～17時に学校に行けない、行かない事を選択した子ども達や今の社会の中で生きにくさを抱えた青年の生活や学習の場であるフリースクールを運営。フリースクールでは高卒認定試験に向けての取り組みの他、大学受験まで対応した学習支援を受けられる。
  - 毎週土曜日には地域のどんな人も訪れ、ゆっくり食事のできるカフェレストランを運営。相談にも対応し、敷居の低い相談窓口と共に、これから就労を目指す若者に対して就労体験の場を提供している。（団体独自事業）
  - 上記事業において相談機能・窓口（メール・電話・手紙等）の充実を図ると共に、震災による避難世帯の子ども及び若者への訪問支援を実施している。（自殺対策緊急強化基金）
  - ・置賜若者サポートステーションを運営、これから就労や進学等をしようとしている若者の相談窓口を開設、就労等に向けた自立支援プログラムを提供している。（厚生労働省委託事業）
  - 上記事業において、臨床心理士による相談、自宅等への訪問相談、精神科医によるスーパーバイズ、地域事業所での就労体験、移動手段のない若者の送迎サービス等も実施している。（山形県の基金事業）

### [自殺総合対策大綱改定に向けての意見]

- スタッフの人材育成、スキルアップのための事例検討やケース会議に参加したいが大綱に基づき自治体の協力体制、位置づけを明確にして欲しい。そして、積極的に周知・広報願いたい。支援団体・機関が孤立しないような体制に期待したい。
- 精神保健的な視点だけでなく、受け皿になる社会・経済的な視点を含む包括的な支援ネットワークを構築する上で、その橋渡しをする機関、就労までいかになくとも対象者が役割を持てる居場所・訓練機関が少ない。

## 精神保健福祉ボランティアサークル「ハービス」の活動について

### 「ハービス」の概要

- 所在地：福島県福島市
- 代表者：市川誠子
- 規模：会員21名
- 活動目的：精神障がいに対する偏見をなくし、当事者が安心して生活できるような地域社会をめざし、正しい理解を得るための啓発活動をする。また、当事者や家族が孤立しないようにボランティアとしての立場で関わりを持ち支える。
- 活動内容：県北地区を中心に、障害福祉サービス事業所等の手伝い
  - ・精神障害福祉会主催事業の手伝い
  - ・障害者週間・自殺予防週間中の啓発街頭キャンペーンおよび講演会
  - ・平成22・23年度福島県自殺対策緊急強化基金事業講演会・シンポジウム・パンフ作成・カード作成など

### 自殺総合対策大綱改定に向けての意見

- 地域社会のつながりが希薄になり孤独感が強くなる。しかし、気づいてくれる人はいないのが現状である。国民一人ひとりがほんの少し足を止めて、周りの人を気遣うゆとりが持てる社会になるための施策を考えてほしい。
- うつ状態は誰もがなりうること。「落ち込むことがあっていい」「失敗してもいい」という教育も必要と思われる。落ち込みからの立ち直りを教育現場でどう子どもたちに教え身につけさせるか。考えてほしい。

## 茨城県理容生活衛生同業組合の自殺防止活動について

### 【茨城県理容生活衛生同業組合の概要】

- 所在地：茨城県水戸市常磐町 理事長：山崎健夫  
組合員数：1,950名（平成24年3月現在）  
所属：全国理容生活衛生同業組合連合会 約65,000名（平成24年3月現在）
- 活動目的・内容：茨城県内にて理容店の顧客に対し、自殺防止対策として約1時間程度にわたる施術中の会話の中から異変を感じとった場合に、保健所等に連絡・もしくは相談窓口の案内を行う取り組みをし、理容業の地域社会に貢献することを目的とする。
- 活動内容：我々理容業の顧客は、30代以上の男性が大半をしめ、また自殺者の実態を見てみると「特に50歳代後半の男性」の増加が際立つとされていることを勘案すると、理容師への防止活動への理解・行動を普及すべきと思われる。理容店は比較的他業種に比べ、リピーターが圧倒的に多い業種のため普段から顧客を定期的に接することが多いとされている。そのため、自殺防止に大切な「気づき」に関しては、職業柄（理容師は聞き上手）適していると思われる。

### 理容組合としての活動内容

#### ① 募 集

県内理容師に周知し、賛同し実施する”かみとこころのサポーター”を募る。

- ・支部役員会等で募集をかける（募集チラシを配布）
- ・HP、機関誌にて組合員に募集案内する。

#### ② 育 成 （講習会を受講する）

- ・受講した理容師に対し、「”かみとこころのサポーター”修了証」を配布します。

#### ③ 看板の掲示と店舗の登録

- ・講習会時に店舗登録カードを配布し、店舗を登録してもらう。
- ・店舗登録のお店には、「”かみ”と”こころ”のサポート店」の看板を配布し、活動を実施する。
- ・名簿を作成・保管し、保健所（行政）からの会報や実際に現場で起こった体験例やサポーターの意識向上のために役立つ情報発信に活用していただく。

#### ④ 活 動

- ・顧客との会話の中で気づきがあった時に対応。
- ・店舗内無料配布用チラシを作成し、待合室やレジなどで配布。

### 【自殺総合対策大綱改定に向けての意見】

(1)現在茨城県内で約500名の理容師が講習会を受講し活動をしております。地域密着の理容業の職業（特色）を活かし、全国の理容師の方々に参加を促していただき、数多くの協力体制を整えていただきたい。理容店は全国に数多くあり地域住民の情報発信源としての役割を果たすことが可能です。自殺防止活動の地域住民へPRできるような取り組みをお願いしたい。

(2)他の民間団体の取り組み事例集を作成し、都道府県レベルで参加団体の促進を図っていただき、取り組み団体同士の繋がり（情報交換等）を活用し相乗効果できるよう整備をしていただきたい。

(3)レッドリボン運動・ピンクリボン運動のようにシンボルマークを作り広く国民に認知していただきたい。

ひとりでも多くの住民が参加し自殺死亡率の軽減を願っております。

## 社会福祉法人栃木いのちの電話の活動について

### <社会福祉法人栃木いのちの電話の概要>

- ◇ 所在地：栃木県宇都宮市
- ◇ 代表者：理事長 青木 勲
- ◇ 規模：事務局 4名、電話相談員 177名、  
維持会員 360名、賛助会員 83名
- ◇ 活動内容：
  - ・ 悩みを抱える人のための電話相談を、365日・24時間体制で行っている。(2回線)
  - ・ 自死遺族のための「わかちあいの会『こもれび』」を毎月第1金・土の2回開催している。(ボランティア)
  - ・ 自殺予防の活動の一環として、各市町や学校等での講演(ゲートキーパー研修も含む)に講師派遣をしている。
  - ・ 小山市で毎月1回開催している「自死遺族の会」にファシリテーターを2名派遣している。
  - ・ 栃木県や自殺対策連絡協議会の催しに際しては、パネル展示やリーフレット類の配布などを行っている。
- ◇ 自殺総合対策大綱改正に向けての意見
  - ・ 自殺対策には一部の人に関わるのではなく、国民一人ひとりがまさにゲートキーパーになれるように啓蒙していくことが必須だと感じている。
  - ・ フィンランドでは、自殺対策としてみんなが「生きがい」を持てるように努力した結果、かなり減少したとのこと。  
目先のことだけではなく、国として長期視点をもって教育・就労について早急に行動を起こして欲しい。
  - ・ 現在自殺予防の活動をしている団体は、それぞれに特徴があると思う。  
お互いに補完できるように連携を強められるネットワークが必要だと思う。
  - ・ 相談員は、完全ボランティアで参加している。しかし人数が多くなれば、組織の運営や相談員の質の向上のための研修に費用がかかってくる。現在は寄付金などで賄っているが、何とか公的な援助がいただけないか。